

事後評価シート

県土整備部

番号	事業名 箇所名	市町村名	事業概要	事業期間			事業費 (百万円)	対象 理由	事後評価の結果 2	総合評価	担当課	特記事項
				着手	1 再評価							
5	河川事業 山内川	宮崎市	延長 L=740m	H16	-	H24	629	<p>【事業の目的】 八重川との合流点から県道城ヶ崎清武線との交差点までは平成10年度までに河川改修が完了したところであるが、その上流部において平成13年10月の出水により浸水被害のあったことから山内川を改修し、浸水被害を軽減することを目的とする。</p> <p>【事業効果の発現状況】 1/30確率、時間雨量86.5mmの計画にて整備を実施しており、事業完了後において、同規模の降雨が発生しているが、洪水被害は発生していないため、事業効果は発現している。</p> <p>(H13.10.16:24時間雨量237mm、時間最大48mm 浸水家屋34戸 浸水面積3ha) (H28.9.19~20:24時間雨量370mm、時間最大77.5mm 浸水家屋0戸 浸水面積0ha) 参考:赤江(宮崎空港)雨量 (H28.9.20:24時間雨量362mm、時間最大110.5mm)</p> <p>【事業による環境の変化や環境保全】 多自然川づくりの取組により、生物の生育環境の保全が図られた。 ・現地発生土を利用した覆土を行い、既存植生の回復に配慮 ・河床幅の変化や起伏の形成 ・自然の流れによるみお筋の形成</p> <p>【施設の維持管理状況】 出水期前に目視による点検を実施し、護岸等の施設について、適正に管理している。また、地元住民によるボランティアにて河川管理用通路の草刈りを実施していただいている。 【今後の事業評価の必要性】 当該区間の整備により、1/30確率の河道が完成し、計画規模相当の降雨が発生しているが、浸水被害がなく、事業効果が確認できたため、必要性はないと考えられる。</p> <p>【改善措置の必要性】 河道内の草木の繁茂も確認できるため、今後河川パートナーシップ事業等を活用して、今後、適切に維持管理を実施していくことが必要と考えられる。</p> <p>【同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性】 山内川では、十分な河床幅が確保されているとはいえないため、今後の同種事業の計画に際しては、護岸のり勾配を立てるなどして、河床幅を確保し、良好なみお筋・水際が形成されるよう環境面にも配慮した計画の検討を行う必要がある。</p>	一定の事業 効果が認め られる	河川課	特になし	

(対象理由) 全体事業費が基準額以上であり、かつ事業完了後一定期間が経過した事業
再度、事後評価の必要があると判断した事業

- 1 再評価の実施年度については、直近のものを記載すること。
- 2 事後評価の際には、出来る限り客観的な数値を記載すること。